

協議会名称		WEBサイト ※QRコードも可
てしかがえこまち推進協議会		https://teshikaga-ecomachi.studio.site/
担当者		
所属	事務局（弟子屈町役場観光商工課）	
氏名	課長補佐 佐々木 章丞	
メール	masyuko1@masyuko.or.jp	SNS（Facebook、Twitter、Instagramなど） ※QRコードも可
電話番号	015-482-2940（課直通）	
主な活動状況		
〈自然環境の保全〉 ・事業者が主に釧路川源流部の湧き水ポイントをモニタリング（6月～10月） ・町内NPO団体が摩周岳登山道点検時に洗堀状況や植物をモニタリング ・アトサヌプリトレッキングツアーで、特定自然観光資源の「噴気孔群」の変化やルートの状況をモニタリング（5月～10月） ・町内NPO団体主催の町民向けイベントとして、特定外来種オオハングンソウや外来種アメリカオニアザミの駆除を実施。 〈観光振興〉 ・観光を担う地域の人材育成を目的に「てしかが観光塾」を11月15～16日に開催する。一般企業・学芸員・国土交通省認定観光カリスマなど、観光や弟子屈の歴史文化に携わる方々を講師に迎え、色々な視点から「地域らしさ」を活かしたまちづくりや観光振興について考える機会を設けたほか、エコツアーの質の向上を目的とした、アウトドアガイド養成講座の開催を数回実施し、担い手の育成・ガイドの質の向上などを図っている。 〈地域振興〉 ・「行きたいまちへ、生きたいまちへ」をキーワードに、「弟子屈町観光振興計画」を策定。国際基準を採用した持続可能な観光による地域づくりの指針として、エコツーリズムを推進していく行動計画も搭載されている。住民や観光客など、全ての人に共感してもらい、弟子屈町らしい持続可能な観光を目指す。 〈環境教育の場としての活用〉 ・アトサヌプリトレッキングツアーは教育委員会と連携し公民館講座を開催。町民にも地域の宝を改めて感じてもらっている。また、地元小学生の授業の一環としても実施。地域のふるさと教育に大きく貢献している。 ・釧路川源流カヌーツアーでは地元高校のふるさと探求授業で川下りを実施し、地元の自然の素晴らしさを体感してもらっている。		

摩周・屈斜路雲海ツアー（6月～10月頃まで）

森と湖のまち、弟子屈町では6月～10月の期間早朝に雲海がみられることで有名です。主に風が弱い夜に摩周湖に溜まった霧が、そのまま早朝まで残っているものが雲海であり、おおよそ午前2時頃～5時頃を雲海の厚みのピークとなり、摩周湖第一展望台・摩周湖カムイテラス、摩周湖第三展望台で観賞できます。季節や条件が揃うと摩周湖や屈斜路湖に雲海がかかることも。

<https://www.masyuko.or.jp/enjoy/unkai/>



アトサヌプリトレッキングツアー（5月18日～11月3日）

噴煙を上げる噴気孔、硫黄、高山植物や硫黄採掘の歴史を楽しみながら、一般客は立入禁止のエリアをガイドと歩くツアーです。岩肌から常に噴気が上がり、生きた火山を楽しむことができます。全体構想で、噴気孔を「特定自然観光資源」に指定し立ち入り制限や人数制限をかけ、地域が一丸となって開発した一押しのツアーです。硫黄山は川湯温泉の源であり、歴史的・文化的にも川湯温泉街を支える重要な役割を果たしています。

https://www.masyuko.or.jp/enjoy/atosanupuri_trekking_tour/



釧路川源流カヌー（通年）

屈斜路湖から釧路川源流部をカヌーで下るツアー。湧水ポイントの「鏡の間」では水の美しさを実感できるほか、多種多様な動植物を観察しながら楽しむことができます。また、四季折々で風景が大きく変わります。特に、厳冬期のカヌーは、川沿いの木々の樹氷やダイヤモンドダストで輝き、水面から立ち昇る気嵐など、幻想的な自然を見ることができます。

<https://www.masyuko.or.jp/enjoy/?cats=634%2C635&kws=>



摩周湖展望台での星空観察（通年）

夜の摩周湖第一・第三展望台では目線の高さに星が現れ、周囲に遮るものがないため360℃のパノラマで美しい星空を楽しむことができます。

特に、摩周湖第一展望台は星空の名所としても知られ、天候条件があれば、数千もの星々を観察することができます。摩周湖カムイテラスの屋上は夜間も開放されており備えつけのベンチなどからゆっくりと星空を眺めることができます。

<https://mashuko-iozan.jp/blog/2022/09/1529>

